

公益財団法人高松宮妃癌研究基金
学術賞受賞者一覧

回 年度 受賞年月日	受賞者名	所属・職名 (受賞当時)	研究業績
第1回 昭和43 S44. 2. 22	久留 勝	国立がんセンター 総長	①前癌性変化に関する研究 ②胃癌悪液質に関する研究 ③癌細胞溶解現象の研究 ④悪性腫瘍内に含まれる核分裂促進物質に関する研究
	中原 和郎	国立がんセンター 研究所所長	①癌毒素トキソホルモンの発見 ②4・ニトロキノリン N・オキサイドの癌原性
第2回 昭和44 S44. 11. 28	杉村 隆	国立がんセンター 研究所生化学部長	胃癌に関する実験的研究
第3回 昭和45 S. 46. 2. 22	釜洞 醇太郎	大阪大学学長 大阪大学微生物病 研究所教授	4・ニトロキノリン誘導体による試験管内発癌に関する研究
	角 永 武夫	大阪大学微生物病 研究所助手	
	黒木 登志夫	東北大学抗酸菌病 研究所助教授	4・ニトロキノリン誘導体による試験管内発癌に関する研究
	佐藤 春郎	東北大学抗酸菌病 研究所教授	
第4回 昭和49 S50. 2. 22	菅野 晴夫	(財)癌研究会癌研究 所所長	白血病細胞の再分化の研究
	市川 康夫	京都大学ウイルス 研究所助教授	
	古沢 満	大阪市立大学 理学部助教授	
	穂積 本男	国立がんセンター 研究所室長	
	井川 洋二	(財)癌研究会癌研究 所室長	

回 年度	受賞者名	所属・職名 (受賞当時)	研究業績
第5回 昭和50 S51.2.23	下 條 寛 人	東京大学医科学研究所教授	腫瘍ウイルス変異株による発癌機構の解析
	豊 島 久 真 男	大阪大学微生物病研究所教授	
第6回 昭和51 S52.2.22	牧 野 佐 二 郎	北海道大学 名誉教授	癌の細胞遺伝学的研究
	梅 澤 濱 夫	(財)微生物化学研究所所長	癌と微生物二次代謝産物の研究
第7回 昭和52 S53.2.22	長 谷 川 博	国立がんセンター 病院外科医長	肝切除の安全性と治療成績向上に関する研究
第8回 昭和53 S53.11.22	山 村 雄 一	大阪大学医学部 教授	担癌生体及びがん細胞の生化学的研究
第9回 昭和54 S55.2.22	池 田 茂 人	国立がんセンター 病院内視鏡部長	気管支ファイバースコープの開発と、それによる肺癌の診断・治療の改善に関する研究
	加 藤 四 郎	大阪大学微生物病研究所教授	腫瘍原性ヘルペスウイルスに関する研究
	日 沼 頼 夫	熊本大学医学部 教授	
第10回 昭和55 S56.2.22	河 内 卓	国立がんセンター 研究所副所長	自然界及び日常環境下に存在する 発癌物質の研究
	高 山 昭 三	(財)癌研究会癌研究所副所長	
	長 尾 美 奈 子	国立がんセンター 研究所室長	
	広 野 巖	東京大学医科学研究所教授	
	松 島 泰 次 郎	東京大学医科学研究所教授	
	故 小田嶋 成和	元国立衛生試験所 部長	

回 年度	受賞者名	所属・職名 (受賞当時)	研究業績
第 11 回 昭和 56 S57. 2. 22	近 藤 宗 平	大阪大学医学部 教授	発癌機構に関する変異原とプロモ ーターの研究
	藤 木 博 太	国立がんセンター 研究所室長	
第 12 回 昭和 57 S58. 2. 22	佐 藤 了	大阪大学蛋白質研 究所教授	チトクローム P-450 の発見
	加 藤 隆 一	慶應義塾大学 医学部教授	チトクローム P-450 の誘導的合成 の発見
第 13 回 昭和 58 S59. 2. 22	高 月 清	熊本大学医学部 教授	成人 T 細胞白血病の病因に関する 研究
	日 沼 頼 夫	京都大学ウイルス 研究所教授	
	三 好 勇 夫	高知医科大学 教授	
	吉 田 光 昭	(財)癌研究会癌研究 所部長	
第 14 回 昭和 59 S60. 2. 22	伊 東 信 行	名古屋市立大学 医学部教授	膀胱癌の実験的研究
	岡 田 正 志	(財)東京生化学研究 所所長	
	垣 添 忠 生	国立がんセンター 病院医員	
	橋 本 嘉 幸	東北大学薬学部 教授	
	吉 田 修	京都大学医学部 教授	
第 15 回 昭和 60 S61. 2. 22	下 里 幸 雄	国立がんセンター 研究所部長	ヒト肺癌の病理学的・生物学的研 究

回 年度	受 賞 者 名	所属・職名 (受賞当時)	研 究 業 績
第 16 回 昭和 61 S62. 2. 21	寺 田 雅 昭	国立がんセンター 研究所部長	新しいがん遺伝子を含むがんの分子生物学的研究
	松 原 謙 一	大阪大学細胞工学 センター教授	
	山 本 雅	東京大学医科学研究 所助教授	
第 17 回 昭和 62 S63. 2. 22	梶 谷 鑑	(財)癌研究会附属病 院名誉院長	癌の外科治療による遠隔成績向上に関する研究 -特に胃癌について(梶谷) -特に肺癌について(末舛)
	末 舛 恵 一	国立がんセンター 病院副院長	
第 18 回 昭和 63 H1. 3. 1	秦 藤 樹	北里学園 最高顧問	抗がん物質マイトマイシンの研究
	若 木 重 敏	協和発酵工業(株) 相談役	
創立 20 周年記 念特別賞 昭和 63 H1. 3. 1	西 村 暹	国立がんセンター 研究所部長	c-Ha- <i>ras</i> がん遺伝子産物、p21 タンパク質の 3 次構造の決定
	大 塚 栄 子	北海道大学薬学部 教授	
	金 聖 浩	カリフォルニア大 学バークレー校 教授	
第 19 回 平成元 H2. 2. 22	河 井 貞 明	東京大学医科学研 究所教授	鶏の肉腫ウイルスによる癌遺伝子の研究
	松 本 圭 史	大阪大学医学部 教授	性ホルモン依存性癌増殖の分子機構の研究
第 20 回 平成 2 H3. 2. 22	櫻 井 欽 夫	共立薬科大学 理事長	抗癌剤耐性に関する研究
	鶴 尾 隆	東京大学応用微生物 研究所教授	
	高 橋 俊 雄	京都府立医科大学 教授	癌の選択的療法による治療成績の向上に関する研究

回 年度	受 賞 者 名	所属・職名 (受賞当時)	研 究 業 績
第 21 回 平成 3 H4. 2. 22	市 原 明	徳島大学酵素科学研究センター教授	肝細胞増殖因子と肝再生・がん化機構の研究
	中 村 敏 一	九州大学理学部教授	
	阿 部 光 幸	京都大学医学部教授	開創照射・術中照射を含む放射線治療の発展に対する寄与
	梅 垣 洋 一 郎	放射線医学総合研究所顧問	
第 22 回 平成 4 H5. 3. 1	押 村 光 雄	鳥取大学医学部教授	がん抑制遺伝子の研究
	関 谷 剛 男	国立がんセンター研究所部長	
	中 村 祐 輔	(財)癌研究会癌研究所部長	
	野 田 亮	(財)癌研究会癌研究所部長	
	横 田 淳	国立がんセンター研究所部長	大腸癌の自然史の研究とその成果の臨床への応用
	牛 尾 恭 輔	国立がんセンター中央病院医長	
	武 藤 徹 一 郎	東京大学医学部教授	
第 23 回 平成 5 H6. 2. 22	伊 藤 嘉 明	京都大学ウイルス研究所教授	8 番・21 番染色体転座急性骨髄性白血病の原因遺伝子の同定と機能解析
	大 木 操	国立がんセンター研究所部長	
	白 壁 彦 夫	(財)早期胃癌検診協会理事長	消化管癌の X 線二重造影法の開発と普及
	市 川 平 三 郎	国立がんセンター中央病院名誉院長	

回 年度	受賞者名	所属・職名 (受賞当時)	研究業績
第 24 回 平成 6 H7. 2. 22	竹 市 雅 俊	京都大学理学部 教授	カドヘリン・カテニン細胞接着系の発見と、そのがん細胞における異常の研究
	広 橋 説 雄	国立がんセンター 研究所副所長	
	月 田 承 一 郎	京都大学医学部 教授	
	藤 本 伊 三 郎	地域がん登録全国 協議会理事長	地域がん登録によるがん疫学の研究
	花 井 彩	大阪府立成人病セ ンター調査部主幹	
第 25 回 平成 7 H8. 2. 22	谷 口 維 紹	東京大学医学部 教授	インターフェロン制御因子の発がんにおける役割の研究
	石 原 和 之	皮膚がん予後統計 調査研究所所長	本邦における悪性黒色腫の治療成績の向上に関する研究
第 26 回 平成 8 H9. 2. 22	前 田 浩	熊本大学医学部 教授	高分子制癌剤による固型腫瘍に選択的な化学療法の研究
	成 毛 韶 夫	国立がんセンター 中央病院副院長	肺がん患者の治療成績および QOL 向上のための研究とその成果
第 27 回 平成 9 H10. 2. 28	長 田 重 一	大阪大学医学部 教授／大阪バイオ サイエンス研究所 部長	細胞死を支配する Fas 抗原の発見とその作用機構の解明
	米 原 伸	京都大学ウイルス 研究所教授	
	二 村 雄 次	名古屋大学医学部 教授	肝門部胆管癌の根治手術法の確立
第 28 回 平成 10 H11. 2. 22	北 村 幸 彦	大阪大学大学院 医学系研究科 教授 兼 医学部長	<i>c-kit</i> によるマスト細胞とカハール介在細胞の増殖、分化、癌化の制御
	海 老 原 敏	国立がんセンター 東病院院長	頭頸部がんの機能温存外科術式の開発

回 年度	受賞者名	所属・職名 (受賞当時)	研究業績
第 29 回 平成 11 H12. 2. 22	宮 園 浩 平	(財)癌研究会癌研究 所部長	TGF- β による細胞増殖の制御と癌 化に関する研究
	山 口 建	国立がんセンター 研究所副所長	肺小細胞がんの腫瘍マーカー ProGRP の開発
第 30 回 平成 12 H13. 2. 22	小 西 陽 一	奈良県立医科大学 教授	実験膀胱癌に関する研究
	下 山 正 徳	国立名古屋病院 院長	質の高い臨床がん化学療法の確立 への貢献
第 31 回 平成 13 H14. 2. 22	田 矢 洋 一	国立がんセンター 研究所部長	癌抑制 RB 蛋白質と p53 のリン酸化 の意義の研究
	日 野 茂 男	鳥取大学医学部 教授	成人 T 細胞白血病ウイルス (HTLV-1) の断乳による母子感染 防止
	田 島 和 雄	愛知県がんセンタ ー研究所部長	
	園 田 俊 郎	鹿児島大学医学部 教授	
第 32 回 平成 14 H15. 2. 22	樋 野 興 夫	(財)癌研究会癌研究 所部長	遺伝性腎癌がんモデルを用いた実 験病理学的研究
	白 坂 哲 彦	大鵬薬品工業(株) 顧問 病態医化学研究所 所長	5-フルオロウラシルの生化学的修 飾による新しい癌化学療法の開発 に関する研究
第 33 回 平成 15 H16. 2. 23	審 良 静 男	大阪大学微生物病 研究所教授	癌免疫療法における Toll-like receptors の役割
	金 子 明 博	国立がんセンター 中央病院医長	眼部悪性腫瘍の眼球保存療法に関 する研究
第 34 回 平成 16 H17. 2. 22	新 津 洋司郎	札幌医科大学医学 部教授	大腸癌の原因物質及びその抑制物 質に関する研究
	森 秀 樹	岐阜大学 理事・副学長	
	若 林 敬 二	国立がんセンター 研究所副所長	

回 年度	受 賞 者 名	所属・職名 (受賞当時)	研 究 業 績
	平 尾 泰 男	放射線医学総合研究所顧問	重粒子線がん治療装置の開発とその臨床応用
	辻 井 博 彦	放射線医学総合研究所重粒子医科学センター長	
第 35 回 平成 17 年 H18. 2. 28	鎌 滝 哲 也	北海道大学大学院薬学研究科教授	シトクロム P450 の化学発癌における役割とその発現制御
	藤 井 義 明	東北大学名誉教授 筑波大学先端学際領域研究センター客員教授	
	森 山 紀 之	国立がんセンターがん予防・検診研究センター長	ヘリカル CT の開発に関する研究
第 36 回 平成 18 年 H19. 2. 28	江 角 浩 安	国立がんセンター東病院臨床開発センターセンター長	がん微小環境中の栄養飢餓耐性細胞制御薬の開発
	立 松 正 衛	愛知県がんセンター研究所 副所長	ヘリコバクターピロリ感染スナネズミを用いた胃発癌と予防に関する実験的研究
	平 山 文 博	(株)シス研究開発本部牧方研究所蛋白薬理研究グループ グループマネージャー	
第 37 回 平成 19 年 H20. 2. 22	渋谷 正 史	東京大学名誉教授	血管新生因受容体の発見とがんの増殖・転移の分子機構の研究
	三 木 一 正	東邦大学医学部消化器内科主任教授	血清ペプシノゲン値を用いた効率のよい胃がん検診法の開発
第 38 回 平成 20 年 H21. 2. 24	中 川 原 章	千葉県がんセンター研究局局長	神経芽腫の発生、悪性化、自然退縮の分子機構解明と予後予測系の構築
	上 村 直 実	国立国際医療センター内視鏡部長	ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌による 2 次胃がんの予防に関する研究

回 年度	受 賞 者 名	所属・職名 (受賞当時)	研 究 業 績
	ジャパン ガスト スタ ディグループ 代表 浅 香 正 博	北海道大学病院 病院長 北海道大学大学院 医学研究科 消化器内科学教授	
第 39 回 平成 21 年 H22. 2. 23	間 野 博 行	東京大学大学院 医学系研究科 ゲノム医学講座 特任教授	新規肺がん原因遺伝子の発見と分子標的療法への展開
	田 尻 久 雄	東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科 教授	内視鏡による早期がん診断の革新的技術開発と臨床研究
	武 藤 学	京都大学大学院 医学研究科 消化器内科学講座 准教授	
第 40 回 平成 22 年 H23. 2. 22	津 田 洋 幸	名古屋市立大学 特任教授研究室 特任教授	遺伝子改変ラットモデルを用いた膵臓がんと前立腺がんの予防、早期診断と治療法の開発
	白 井 智 之	名古屋市立大学 大学院 医学研究科 実験病態病理学講座 教授 研究科長	
	杉 山 治 夫	大阪大学大学院 医学系研究科 機能診断科学 教授	白血病の微小残存病変を高感度に検出する臨床検査法の開発
第 41 回 平成 23 年 H24. 2. 22	徳 永 徹	福岡女学院看護大学 学長	CG モチーフをもつ単鎖 DNA の抗腫瘍活性に関する研究
	上 田 龍 三	名古屋市立大学顧問 医学研究科特任教授 名古屋市病院局長	成人 T 細胞性白血病・リンパ腫に対する抗 CCR4 抗体療法の開発
第 42 回 平成 24 年 H25. 2. 22	村 上 善 則	東京大学 医科学研究所 教授	新規細胞接着分子経路の同定と、がんにおける意義の研究

回 年度	受賞者名	所属・職名 (受賞当時)	研究業績
	森 正 樹	大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科教授	消化器癌の癌幹細胞に関する研究
第 43 回 平成 25 年 H26. 2. 21	清 木 元 治	高知大学医学部 附属病院特任教授	がんの悪性形質を制御する膜型マトリックスメタロプロテアーゼ (MT1-MMP) の発見
	笹 子 三 津 留	兵庫医科大学上部 消化管外科	癌外科治療における臨床研究の確立と欧州での胃癌標準手術の確立
第 44 回 平成 26 年 H27. 2. 20	早 津 彦 哉	岡山大学 名誉教授	エピゲノム DNA 構造解析に用いるバイサルファイト法確立への貢献ー基礎となる化学反応の発見
	津 金 昌 一 郎	国立がん研究センター がん予防・検診研究センター センター長	大規模コホート研究に基づくエビデンスの構築と日本人のためのがん予防法の提言
第 45 回 平成 27 年 H28. 2. 19	北 野 正 剛	大分大学 学長	消化管がんに対する内視鏡外科の根治性に関する多施設共同研究
	下 遠 野 邦 忠	国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター センター特任部長	C型肝炎ウイルスによる肝炎・肝がん発症の予防に向けた研究
第 46 回 平成 28 年 H29. 2. 22	小 川 誠 司	京都大学大学院 教授	骨髄異形成症候群の分子基盤の解明
	吉 田 稔	理化学研究所 主任研究員	エピジェネティクスを分子標的としたがん治療に関する化学生物学研究
第 47 回 平成 29 年 H30. 2. 22	片 岡 一 則	(公財)川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター長 東京大学政策ビジョン研究センター 特任教授	臨床への応用を目指した高分子ミセル型抗がん剤送達システムの創製
	酒 井 敏 行	京都府立医科大学大学院 医学研究科分子標的 癌予防医学教授	ファースト・イン・クラスの MEK 阻害剤トラメチニブの発見

回 年度	受 賞 者 名	所属・職名 (受賞当時)	研 究 業 績
第 48 回 平成 30 年 H31. 2. 22	牛 島 俊 和	国立がん研究センター 研究所エピゲノム解析 分野分野長	エピジェネティックな発がんの素 地：概念樹立から臨床応用まで
	藤 堂 具 紀	東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 先端がん治療分野教授 東京大学医科学研究所 附属病院脳腫瘍外科科長	遺伝子組換えヘルペスウイルスを 用いたがんのウイルス療法の臨床 開発
第 49 回 令和元年 R2. 2. 21	落 谷 孝 広	東京医科大学医学総合 研究所 分子細胞治療研究部門 教授	体液中マイクロ RNA によるがんの 早期診断法の確立とその実用化
	高 橋 雅 英	名古屋大学大学院 医学系研究科教授 名古屋大学 理事・副総長	がん細胞の浸潤・転移に関わる Girdin ファミリー分子の発見と機 能に関する研究
第 50 回 令和 2 年 R3. 2. 22	竹 内 賢 吾	(公財)がん研究会がん 研究所 部長・所長補佐	組織病理学を基盤とした融合キナ ーゼ遺伝子群の同定とそのがん診 断法への応用
	原 英 二	大阪大学微生物病研究 所 教授	発がん制御における細胞老化の役 割と作用機序の解明
第 51 回 令和 3 年 R4. 2. 22	柴 田 龍 弘	東京大学医科学研究所 ゲノム医科学分野 教授	消化器難治がんゲノム解析による 診断・治療・予防への展開
	畠 山 昌 則	東京大学 医学系研究科 微生物学講座 教授	ピロリ菌がんタンパク質 CagA によ る胃発がん分子機構の解明
第 52 回 令和 4 年 R5. 2. 22	内 富 庸 介	国立がん研究センター がん対策研究所 研究統括	がん患者のストレスと支持・緩和・ 心のケア法の開発
	西 川 博 嘉	国立がん研究センター 研究所 腫瘍免疫研究分野 分野長	がん微小環境における免疫抑制機構の 解明と治療への展開
第 53 回 令和 5 年 R6. 2. 22	高 橋 隆	愛知県がんセンター 名誉総長	ヒト肺がんの分子病態の多面的解明

回 年度	受 賞 者 名	所属・職名 (受賞当時)	研 究 業 績
第 53 回 令和 5 年 R6. 2. 22	土 岐 祐 一 郎	大阪大学大学院 医学系研究科消化器研 究科外科 教授	高度進行食道がんに対する根治を目指 した集学的治療の開発
第 54 回 令和 6 年 R7. 2. 21	河 野 隆 志	国立がん研究センター がんゲノム 情報管理センター センター長	治療標的・診断手法の発見・開発・実 装によるがんゲノム医療の推進
第 54 回 令和 6 年 R7. 2. 21	吉 野 孝 之	国立がん研究センター 東病院 副院長	大腸がん薬物療法の世界的标准治療の 確立とがん個別化医療の研究開発

合計 95 件 147 名